

建築物石綿含有建材調査者修了考査

1, 建築物石綿含有建材調査に関する基礎知識2

問題 1 次の関係法令の内容で誤っているものはどれか

- 1 大気汚染防止法では、石綿を特定粉じんと位置付けている。
- 2 建築基準法の石綿の規制対象は吹付け石綿及び石綿含有吹付けロックウールとされている。
- 3 廃棄物処理法では、解体で発生する石綿含有吹付け材、石綿含有保温材、断熱材、耐火被覆材及び石綿含有廃棄物は廃石綿等特別管理産業廃棄物とされる。
- 4 廃棄物処理法では、解体で発生する石綿を熔融処理もしくは無害化処理した廃石綿等及びレベル3の石綿含有成形板は安定型処分場で埋立される。

問題 2 建築基準法における石綿の事柄について誤っているものはどれか。

- 1 建築物等の増改築時は、原則として石綿の除去が義務付けられる
- 2 増改築を行う部分の床面積が増改築前の床面積の2分の1を超えない場合増改築を行う部分以外の部分の囲い込みや封じ込めの措置を行う
- 3 大規模修繕。模様替時は、大規模修繕・模様替えを行う部分以外の部分について囲い込みや封じ込めを行わなくてもよい。
- 4 増改築等を行う場合は、他の法令に基づく調査義務が発生し、他の種類の建材についても調査が必要となる。

2, 石綿含有建材の建築図面調査

問題 1 建築物の主要構造部とならないものはどれか

- 1 壁
- 2 間柱
- 3 床
- 4 階段

問題 2 次のうち防火材料と要求時間の組み合わせで誤っているものはどれか

- 1 不燃材料の要求時間は20分間
- 2 準不燃材料の要求時間は10分間
- 3 難燃材料の要求時間は5分間
- 4 準難燃材料の要求時間は3分間

3, 現場調査の実際と留意点

問題 1 現地調査の情報収集として適当でないものはどれか

- 1 所有者
- 2 建築物の用途
- 3 石綿含有建材予想量
- 4 建築図面

問題 2 調査者の労働安全の留意点として適当でないものはどれか

- 1 試料採取時、立入領域に対してHEPAフィルター付き真空掃除機により事前に清掃する。
- 2 試料採取時、周囲に人がいないことを確認して行う
- 3 石綿含有建材の試料採取は採取後、飛散用製剤を散布する
- 4 石綿含有建材の切断・削り取りは最小限度とする

問題 3 現地調査において建築物の判別について適当でないものはどれか

- 1 既存構造からの判別
- 2 床部分の判別
- 3 空調設備の改修の判別
- 4 上下水道の改修の判別

4, 建築物石綿含有建材調査報告書の作成

問題 1 調査報告書の構成について適当でないものはどれか

- 1 石綿含有建材の有無に関する事前調査結果報告書
- 2 調査部屋番号平面図
- 3 調査者履歴書
- 4 調査詳細表

問題 2 調査報告書の構成について適当でないものはどれか

- 1 分析試料採取位置図
- 2 調査者人数
- 3 分析試料一覧表
- 4 調査者資格証